

九大医人二第10号
令和2年7月9日

国公立歯科・医科大学長
国公立大学歯学・医学部長
関係機関の長 殿

九州大学大学院歯学研究院長
中村誠司 公印省略

口腔常態制御学講座 分子口腔解剖学分野 担当教授候補者の国際公募について（依頼）

謹啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび、九州大学大学院歯学研究院では口腔常態制御学講座 分子口腔解剖学分野担当の久木田 敏夫 教授が令和3年3月31日をもちまして定年退任となりますので、後任の教授候補者を下記の要領により広く国際公募することにいたしました。本研究院は口腔常態制御学講座を含む7つの大講座と1つの研究センターからなり、同講座は分子口腔解剖学分野の他に口腔細胞工学分野、口腔機能解析学分野、口腔機能分子科学分野および歯科医学教育学分野から構成されています。

九州大学歯学部は平成29年に創立50周年を迎えました。創立以来、歯学・歯科医療の教育、歯学の先駆的研究を実践し、大学病院では高度先進歯科医療を提供しています。創立50周年を機に、これからの50年に向けた躍進スローガン「継承・躍進・牽引」を掲げ、先人の歴史と叡智を「継承」し、さらに「躍進」させることで、世界をリードし「牽引」していく国際的な歯科医学の教育・研究機関となることを目指しています。また、九州大学では、全学の各領域において世界のトップ100大学に躍進すること（躍進百大）を掲げ、「世界最高水準の研究とイノベーション創出」や「グローバル人材の育成」など6つのアクションプランを立てています。歯学研究院でも躍進百大を具現化するため、**Oral health・Brain health・Total health（OBT）** 研究センターを設置し、歯学研究における世界的拠点を構築しようと考えています。加えて、歯学研究院では大講座を横断した2大重点研究プロジェクトである「口腔健康科学」ならびに「口腔組織の再生・再建医療研究」を設置し、各研究分野の有機的連携ならびに研究体制の戦略的形態への転換を促進させ、世界的研究拠点を形成する独創的な研究展開を進めております。

今回の教授候補者公募では、この2大重点研究プロジェクトを促し、OBT 研究センターや他の研究分野と連携して本学ならびに本研究院の理念に即した世界トップレベルの優れた研究を行える人材を求めています。さらに研究を通して、将来の歯学研究を担う研究者を

育成するための学府（大学院）教育、および職能人として社会に貢献できる歯科医師を育成する学部教育を推進できる能力も必要としています。また、学部教育では、解剖学、口腔解剖学、組織学、口腔組織学および発生学の解剖学全般の講義・実習を担当していただき、学部学生が歯科医師国家試験に十分対応できる教育者が望まれます。そのほかにも、九州大学のアクションプランを実行するために手腕を発揮し、世界的研究・教育拠点として全学一体となった自律的組織改革に柔軟に対応できる幅広い能力を期待しています。

なお、九州大学では「男女共同参画基本法（平成 11 年法律第 78 号）」、「障害者の雇用の促進等に関する法律（昭和 35 年法律第 123 号）」ならびに「障害を理由とする差別の解消の促進に関する法律（平成 25 年法律第 65 号）」の精神に則り、人事選考を行っております。また、選考の過程で講演・面談をお願いすることがあることも申し添えます。

つきましては、貴学（部）および国内外の関係機関にご周知方よろしくお願いいたしますとともに、適任者のご推薦を賜りますよう併せてお願い申し上げます。

謹白

記

1. 募集人数 教授 1 名
2. 着任時期 令和 3 年 4 月 1 日予定
3. 応募資格
 - (1) 博士の学位を有する者
 - (2) 日本の医師免許、歯科医師免許、もしくは人体解剖学（肉眼解剖実習を含む）の教育経験を有する者が望ましい
4. 提出書類
 - (1) 履歴書（別紙様式、記載上の注意事項を参照）
歯科医師免許、医師免許、学位、学会認定専門医および指導医等の取得年月日、番号等を明記すること。
 - (2) 業績目録（記入例、記載上の注意事項を参照）
業績目録のうち、原著論文には掲載年には拘わらず 2020 年版 Journal Citation Reports の 2019 年のインパクトファクター（IF）および Web of Knowledge による現在までの被引用回数を記入すること。
 - (3) 業績のまとめ（別紙様式、記載上の注意事項を参照）
業績を 2015 年以前と 2016 年以降に分け、論文数、IF および被引用回数の合計を記入すること。

- (4) 論文別刷 (PDF ファイル)
代表的なもの 10 編。
- (5) 科学研究費補助金および各種研究助成金等の受領状況ならびに各種研究課題への参画状況 (別紙様式、記載上の注意事項を参照)
- (6) 大学院生の教育研究指導実績 (様式、ページ数自由)
- (7) 研究内容の概説および今後の展望・抱負など (様式、ページ数自由)
研究内容の概説には、代表的論文 10 編の要旨の内容を取り入れて記入し、自身の研究成果に関する自己評価を加えること。また、学会等での受賞歴があれば記入しても構わない。
- (8) 教育内容の概説および今後の展望・抱負など (様式、ページ数自由)
大学院・学部それぞれについて、自身の教育に対する理念、教育方法、および教育研究指導実績等について記入すること。なお、人体解剖学 (肉眼解剖実習を含む) の教育経験を有する者は、その教育指導内容等について記入すること。
- (9) その他、応募者のこれまでの活動で特記すべき事項や抱負 (様式、ページ数自由)
社会連携活動や大学院、学部、研究室等の管理運営業務あるいは学会活動などで特記すべき事項があれば記入すること。
- (10) 本人について問い合わせのできる方 3 名の氏名と連絡先を記入すること。

注意事項

※ 提出書類は返却しない。

※ 上記 (4) を除いた提出書類は Microsoft Office で作成し、原本ファイル (ファイルは個別でも可 ただし、フォルダにまとめて保存のこと) と PDF ファイル形式 (編集不可形式) に変換したファイルの両方を CD-R 等のメディアのそれぞれ別のフォルダに保存して提出すること。上記 (4) については論文別刷、受理証明書等の個別の PDF ファイルを一括して同一メディアの別フォルダに保存すること。

5. 応募締め切り日 令和 2 年 8 月 24 日 (月曜日) 午後 5 時 (必着)

6. 応募書類提出先および問い合わせ先

〒812-8582

福岡市東区馬出 3-1-1

九州大学医系学部等総務課人事第二係 宛

電話 : 092-642-6237

郵送の場合は、封筒の表に「口腔常態制御学講座 分子口腔解剖学分野担当教授応募書類在中」と朱書し、必ず書留で送付すること。

(公募要領等の書類は <https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekTop> からダウンロード可能)

7. その他（職業安定法に基づく明示事項）

(1) 雇用期間

期間の定めなし

(2) 試用期間

試用期間あり（3か月）

ただし、国、地方自治体又はこれに準ずる関係機関の職員から引き続き本学の職員となった者については、この期間を短縮し、又は設けないことがあります（本学就業通則第6条第1項）。

(3) 就業場所

歯学研究院（福岡市東区馬出3-1-1）

(4) 就業時間、休憩時間、時間外労働

専門業務型裁量労働制により7時間45分働いたものとみなされます。

(5) 休日

土日、祝日、12/29～1/3

(6) 賃金

年俸制（令和2年4月1日導入の年俸制）

なお、年俸額については経験等に基づき本学の関係規程により決定します。

(7) 加入保険

雇用保険、労災保険、健康保険、厚生年金

(8) 募集者の氏名又は名称

九州大学大学院歯学研究院